

1. 教科の目標

- ・創造的に音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。
- ・旋律に重点を置いた活動を通して、基礎的な表現の能力を伸ばし、音楽表現の楽しさを感じ取るようにする。
- ・音楽の楽しさを味わって聴き、様々な音楽に親しむようにする。

2. 到達目標

観点	音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力
目標	進んで音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高めるとともに、生活を明るく潤いのあるものにしようとする。	曲想や音楽を特徴付けている要素を感じ取り、それらを生かした表現や鑑賞の仕方を工夫している。	音楽を聴いたり楽譜を見たりして演奏するとともに、呼吸および発音の仕方に気をつけて自然で無理のない声で歌ったり、音色に気をつけて楽器を演奏したり、音楽をつくったりする。	音楽を特徴付けている要素や、楽曲の仕組みに気をつけながら、曲想の変化を感じ取って聴く。

3. 年間指導計画

月	学習内容	学習のねらい
4	階名になれよう ○友だち ○春の小川 ○ドレミで歌おう	・旋律を階名で模唱したり視唱したりして、楽譜を見て歌うことに慣れるようにする。
5	○茶つみ ○海風きって	
6	リコーダーに親しもう ○「小鳥のために」/（さん歌） 小さな花 ○かり かりわたれ ○さよなら	・リコーダーの音に気を付けて聴いたり、基本的な奏法を身に付けたりすることができるようにする。
7	いろいろな音のちがいをかんじとろう ○うさぎ おかしのすきなまほう使い	・音の特徴や音色の違いを感じ取って、想像豊かに聴いたり表現したりすることができるようにする。
9	○「茶つみ」（かりうどの合唱/バイエルン ボルカ/トランペットふきの休日）	・イメージに合った音を探して、表現の仕方を工夫することができるようにする。
10	ふしのとくちょうをかんじとろう ○パードウオッチング ○「馬にのって」 ふじ山 ねむたいこねこ エーデルワイス	・旋律の特徴を感じ取って、想像豊かに聴いたり表現したりすることができるようにする。 ・旋律の特徴を生かして、歌い方や楽器の演奏の仕方を工夫することができるようにする。
11	曲の気分をかんじとろう ○ちびっこカウボーイ ○ハックルベリーフィン	・曲想を感じ取って、想像豊かに聴いたり表現したりすることができるようにする。
12	○ゆかいな木きん	・歌詞の表す様子を思い浮かべて、歌い方や楽器の演奏の仕方を工夫することができるようにする。
1	音をきき合って合わせよう ○あの雲のように	・声や音が重なり合う響きを感じ取って聴いたり演奏したりすることができるようにする。
2	○「二人でおどりましょう」 ○パフ	・互いの声や音を聴きながら、拍の流れに乗って演奏の仕方を工夫することができるようにする。
3	生き生きと歌おう きょうりゅうとチャチャチャ あの青い空のように ○卒業式の歌 ○君が代	・発声や呼吸の仕方に関心をもって歌い方を工夫したり、声を揃えて歌う喜びを味わったりすることができるようにする。

4. 評価の観点・方法

発言内容 テスト 表情や態度の観察 演奏聴取 鑑賞態度の観察 鑑賞カードの利用 練習の様子 演奏場面の観察などにより、単元の学習内容に応じて、各観点について評価します。

5. 保護者の方へのお願い

リコーダーなどを家庭で練習することがあります。励ましと賞賛をお願いします。